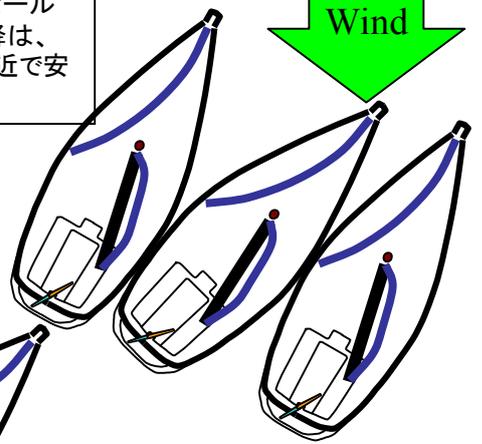


ヒービング・トゥー

ヒーブツウの状態にあるセールボートは、風の中でミニマムスピードでポジション維持が可能。これは一つのポイントオブセールとって差し支えない。

ラダー、メインセール、ジブセールの間でバランスがとれた以降は、船は風に対して50~60°付近で安定する。



荒天時にはビームリーチまでもって行ってはいけない。不必要であるばかりでなく、横波を受けて転覆の危険性もある。

ラダーを風上に切り、固定。

海が穏やかな場合は、ビームリーチの位置まで一旦定針させ、その後ゆっくり風上へ向ける。

•セールボートのデザインによって、ヒーブツウで安定するための、ラダー、メインセール、フォアセールのコンビネーションが異なる。
•コンディションに合わせたベストバランスを探り出す必要がある。
•調整の効果が出てボートが反応するまでにはタイムラグがある。
•フォアセールがリギンでこすれてダメージを受けないように十分注意する必要がある。

調整が済んだ時点で“Hove to”の状態になる。船は風に対して50~60°の角度で安定してゆっくり前進しながら風下へ流される。

フォアセールにはバックウインドが入り、バウが風下へ圧流される。メインセールは反対舷に変わる。

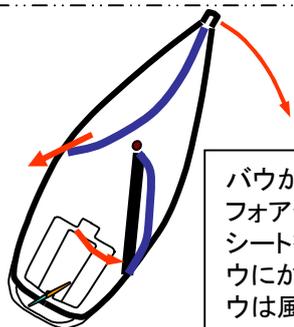
Coming About
ただし、各シートはそのままの状態を維持する。

Heaving to
船をクロスホールドの状態におく。

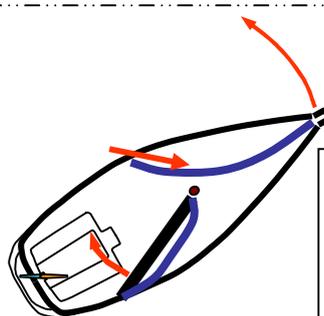
ヒービング・トゥーの用途

- メインセールのリーフ作業
- 停止して休息をとる。
- 修理、調理、ナビゲーションなどを行う。
- 荒天時にバウを風上に向けて安定・スローダウンさせる。

- 船は完全に停止しているわけではなく、少しの前進力と風下へのリーウェイが働いている。
- ステアリングは固定状態(ロック)を維持すること。
- 風下側へ十分なルーム(余裕海面、操船余地)があることを確認されていなければならない。



バウが風上を向きすぎる場合、フォアセールを引き、メインシートを緩めることにより、バウにかかる圧力が強まり、バウは風下に向かう。



バウが風下を向きすぎる場合、フォアセールを緩め、メインシートを引くことにより、推進力が強まり、ラダーが働いてバウが風上に切りあがる。